



坂東地域アグリ通信

令和7年10月3日

坂東地域農業改良普及センター 発行

Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

境町生産組織運営協議会において水稻乾燥調製講習会を実施しました

令和7年8月22日(金)に境町生産組織運営協議会を対象に、水稻乾燥調製講習会を行い、関係機関を含む20名が参加しました。

普及センターから水稻の収穫適期の判断方法として、「コシヒカリ」を例に挙げ、日平均気温の積算温度1,000℃(出穂後約40日)が目安となっていることや、近年の高温の影響で、成熟期間が早まっていることから、直接粳の成熟具合を確認する必要性などを説明しました。

次に、収穫～乾燥作業の注意点について、乾燥温度や降雨後など状況に応じた乾燥調製の方法を説明をしました。

最後に農作業事故の事例を挙げ、農業は建設業と比べて10万人当たりの事故件数が約3倍となっていることや、どのような対策を行えば事故を減らすことができるかの説明を行いました。

今後も普及センターでは、水稻の高品質化や安全な農作業に向けて支援を行って参ります。



講習会の様子

坂東地域アグリセミナー第4回「先進事例研修」を開催しました

令和7年9月18日(木)に坂東地域アグリセミナー第4回「県西広域講座：先進事例研修」を開催し、県西地域の新規就農者14名が参加しました。

第4回講座では、境町の稲垣孝行青年農業士を訪問し、経営概要や自身の成功・失敗談についての話を伺いました。また、受講生に向けて、「4Hクラブへの加入や勉強会等の参加など、コミュニティを大切に、横のつながりを持つこと」、「積極的に新しい情報を取り入れて、柔軟な考え方を養うこと」等のアドバイスがありました。

JGAP認証取得や外国人技能実習生の導入に取り組む話を聞いた参加者からは、「JGAP認証取得のメリットは？」や「外国人技能実習生の導入後の課題は？」などの質問があり、有意義な研修会となりました。

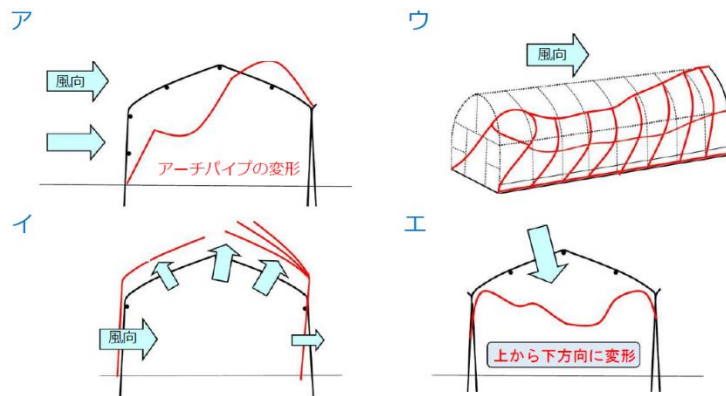
今後も普及センターでは、アグリセミナーを通じた新規就農者への支援を行っていきます。



研修会の様子

大雨や台風の被害に備えましょう

農業用ハウスには以下のような被害が生じる可能性があります。



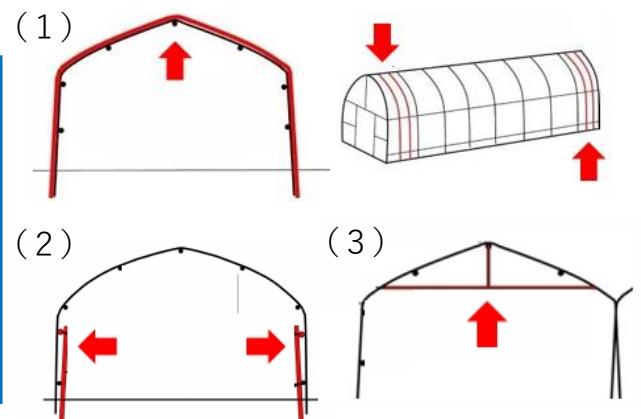
ハウスの立地条件や
強風時の風向き等から
どのような被害が想定されるか

- ア 風上側の肩部分から屋根にかけて
押しつぶされた状態
イ 下から吹き上がるようにパイプが変形
ウ 妻面が奥行き方向に倒壊
エ 真上から屋根が押しつぶされたように陥没



補強対策の一例

- (1) 太めのパイプに交換、アーチパイプの追加
強風を受けやすい妻面など局所的に補強
- (2) 側面の補強
強風による横からの圧を1ヶ所にかからない
ようにする補強
- (3) タイバーによる補強
屋根荷重によるハウスの変形を防ぐための補強



**被害に遭う前に準備をしっかりと行い
大切な農産物を守りましょう！**

より詳しい内容が気になる方は右のQRコードから

(参考：茨城県農業用ハウス災害被害防止マニュアル) (ダイジェスト版) (マニュアル詳細版)



10月の土壌診断実施日のお知らせ

10月は、1日(水)、15日(水)
29日(水)の3回を予定しています。

- ・個人の農家の方が対象です。
- ・1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には
次回の診断となります。
- ・受け付けは前日まで可能ですが**先着順**となりますので、お早
めにお持ちください。電話等での**予約は行っていません**。
- ・**1人あたり5点以内**の持ち込みをお願いします。
- ・土は乾燥させてから、持ち込みをお願いします。

編集後記

残暑厳しい中、いかがお過ごしでしょう
うか。私は、キャニオニングという川下
りをしてきました。特に印象に残ってい
るのは、救急隊員のように縄を使って滝
を下っていくアスレチックです。かなり
の恐怖体験でしたが、また行きたくなる
のが不思議です。まだまだ、暑い日が続
くと思いますが体調にはお気をつけくだ
さい。(阿武)